

## 特許庁庁舎について



こんにちは、ギコンくんです。このコーナーでは、特許庁での気になるトピックを紹介しています。今回は、特許庁庁舎にまつわる話をお届けします。



「ま〜だだよ〜。う〜ん、どこに隠れようかなあ。迷うなあ……。あっ、ここなら大丈夫かな。よしっ、も〜いいよっ！」  
はてさて。あの机の下に隠れているのはギコンくんかのう。おしりを出して何をしとるんじやろうか？

ほい！ ギコンくん。こんなところで何をしとるんじや。  
「パテッ！ もう見つかったちゃった！ って、何だ。コレじいさんか〜。」

何だとは失礼じゃのう、ギコンくん。こんなところで机に潜って、何をしとるんじや。探しものでもしとるんか。  
「ちょっとかくれんぼをしてたんです。でもなかなかいい隠れ場所が見つからなくて……」

ほっほっほっ、かくれんぼとはまだまだ子どもじゃのう。でもあまり庁舎で遊ぶのではないぞ。

「はーい。でも特許庁の庁舎ってすごく広いですよ。僕が鬼のときは、あちこち探し回ってもすぐには見つけれなくて……」

そうじゃのう。特許庁庁舎は地上16階、地下3階で外見はあまり大きく見えなかつたかもしれんが、意外と広くてのう。延床面積で言うと86,818.842㎡で、これは隣の大きな霞が関ビルの半分以上の大きさなんじゃぞ。

「へ〜、そんなに広いんですか。どうりで隠れ場所がいっぱいあるわけだ。」

今でこそペーパーレスで電子的に出願されておるが、昔は紙で出願しておったんじや。どんなにたくさん出願が来ても大丈夫だったんじやぞ。小さい体をしとるが、包容力は抜群じゃ。

「そういえば、コレじいさんがいつもいる玄関ホールのリビーも、広くてすごく開放感がありますよね。」

そうじゃよ。西側庭園からの外光を受けて緑の眺望が得られるようにロビーの窓を大きくして、気持ちよく落ち着いた明るい空間になるように設計しておるんじや。特許庁には出願人や代理人などたくさんの方が来るからのう。少し



西側庭園を臨む玄関ホール

でも居心地を良くし、開かれた庁舎のイメージをつくるために工夫をしとるんじやよ。

「そうなんですか。いつも庁舎のあちこちをウロウロしていましたが、全然気付きませんでした！」

注意して見れば、庁舎にはいろいろ面白いことがあることに気付くぞ。

例えば、庁舎の周りには塀がほとんどないじやろう。その代わりに、低木の植込みで庁舎を囲っておるんじや。これも開かれた庁舎をイメージするための一工夫なんじやよ。「普段何気なく通り過ぎていましたが、そんな意味があったんですね！ 特許庁庁舎には、探せばまだまだ秘密がありそうですね。いい隠れ場所を見つけるついでに、もっとウロウロしてきます！」

また行ってしまったか。遊んでばかりで、ちゃんと勉強をしとるんかのう。

はてさて、そういえばギコンくんは誰とかくれんぼしておったんじや？

(文：特技懇編集委員会)



特許庁庁舎の北側庭園